

産禅洞だより

● 岐阜環境医学研究所・産禅洞診療所
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談
 診 察 日：月曜・木曜・金曜
 受付時間：9:00~12:00,
 〒502-0017 岐阜市長良雄穂878-16
 IP Tel:058-295-9545
 FAX:058-296-3903
 E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp
 http://zazendoh.town-web.net/
第136号 2015.7.1.
 毎月1回発行 産禅洞診療所 松井英介

「東京オリンピック」！？



松井英介

「東京オリンピック」を、どのように見ておられますか。

NHKなどテレビは、連日のように「東京オリンピック」を巡るあれこれを報じています。

去る6月14日（日）東京恵比寿にある日仏会館で、「リスク・コミュニケーション～コミュニケーションの危機を語ろう」と題された討論会が開かれました。プログラム冒頭の言葉は、「脅威の社会に服従していいのか？」 「リスクの社会を受け入れていいのか？」

この会を企画したフランス国立科学研究センターのセシル・浅沼＝プリスさんは、つぎのように語りかけました。

「人間の営みが引き起こした最も大きな脅威のひとつが2011年の福島第一原発事故で、具現化したにも関わらず、再びリスク・コミュニケーションという言葉が浮上して2年。巧みな言葉の錬金術によって、人間が引き起こすリスクと自然災害によるリスクは、『リスク』というカテゴリーでひとくくりにされてしまっています。例外的な状況を普通にしてしまう恐れのある社会、すなわち『リスク社会』を生きるという認識。これが私たちの課題です。今日のリスク・コミュニケーションの目的は何か。誰に向けられているのでしょうか？」。

これを受けて島菌進さん（上智大学）ほか11人が報告しました。ここでは、「イメージとフレーム～グローバルな嘘としての東京五輪」と題する鶴岡哲さん（一橋大学）の話をも、簡単にご紹介しましょう。

「『インパクション』（194）2014が返上有り！ 2020東京オリンピック徹底批判という特集を組みました。フランスと日本に共通しているのは、第二次世界大戦後小国になった植民地宗主国です。安倍首相はアンダー・コントロールと言いましたが、フランスではアレヴァ解体の議論が始まり、非核地帯に原発を輸出・押し付けるという点で協力しています。

“東京でオリンピックができるのだから、もはや原発事故のリスクはない！”。コミュニケーションとは名ばかり、彼らが上から一方的に発するリスク・コミュニケーションです。日本共産党も東京オリンピックを容認。ハンナ・アーレントは1950年代に「全体主義の起源」を書きましたが、イメージは、「全体主義」以降国民を騙すスペクタクル。未来に向かって事実が書き換えられるのであれば、政治は成り立ちません」。